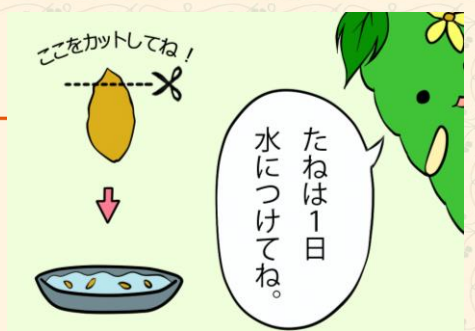


ゴーヤ 種からの育て方

1 種の準備

- 発芽しやすくするため、種のとがった方を爪切りでカットします。
- 水を入れた小皿等に種を並べ、発芽を待ちます。水の量は種が半分以上浸る程度です。
- 4～5日で白い根が出てきます。発芽までは温度を25℃以上にして水を切らさないこと大切！



2 ポットに植える

- 種は培養土を入れたポットに白い根を下向きにして植え、種一つ分くらいの土をかぶせます。深植えにならないように注意しましょう。
- 1週間程度で発芽します。発芽温度は25℃以上必要なので、暖かいところに置きましょう。双葉が成長して4枚程度になったらプランターに定植します。



3 プランターへの定植

- プランターは容量27ℓ（50×34×26）を使用し、1つのプランターに苗1本を植えます。
- 土は培養土を使います。肥料は移植ゴテで堆肥4杯、鶏糞4杯、化成肥料3杯を混ぜ合わせます。去年の土を使用する場合は、苦土石灰3杯を混ぜ合わせます。



4 摘芯しよう！

- 本葉が8～10枚になったら、親づるの先をハサミで切ります（摘芯）。これは親づるから伸びる子づるの成長を促し、きれいなカーテンを作るために欠かせない作業です。
- 植え付けから1か月後を目安に肥料をあげ、以降、2週間に1度追肥すると良く育ちます。



5 収穫

- 7月に入ると実がつき始めます。表面のぶつぶつが大きくなり、つやが出てきたら収穫期です。緑のうちに収穫しましょう。
- 種を取る場合は黄色く色づき実の下側の部分が裂けて開くまで待ちます。採取した種は良く洗って乾燥させ、冷暗所で保存します。

